



日蓮宗 法音寺

法音

今月のご法話

福を植える

令和7年
3月号
No.665



悦可衆心

よい教おしえをつたえよう

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善よきに導まりましょう

月刊・法音 令和7年3月号 No.665 目次

【信仰の指針】植しまくとく徳 良き未来のために徳の種を植えましょう 1

福を植える 山首 鈴木正修 2

◆春のお彼岸です 19

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

◆青少年育成道場のお知らせ 22

◆仏教漫画『日蓮さま』・35赦免 23

◆赦免 31

◆お寺の本棚 32

◆常寂光土への誘い(32) 34

◆のりのね体験 38

◆四菩薩プロジェクト「安立行」編の記事が仏教タイムスに掲載されました 40

◆支院だより 41

◆法音寺は「信仰と福祉のお寺」です 62

◆福祉のひろば 63

○幸せのお手伝い 64

○障がい者支援施設泰山寮の紹介・令和の取り組み 66

○日本福祉大学・第22回高校生ふくし文化賞・エッセイコンテスト 68

◆賛助員ご芳名 70

◆幸せの種まき／編集後記 72

◆連載まんが・ひまわり・146 見方を変えるだけで 73

◆法音寺の社会福祉・教育事業

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・19頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・梅

信仰の指針

し
よ
く
と
く

植徳

良き未来のために

徳の種を植えましょう

日教五





朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

福を植える

皆さん、幸田露伴をご存知でしょうか。露伴は夏目漱石と並び称される明治の文豪です。亡くなった時に慶応義塾塾長だった小泉信三先生に「私達は百年に一人の頭脳を失った」と言わしめた人物です。露伴は小説家ですが、修養に関する本をいくつか書いています。その中でも一番有名なのが『努力論』です。

この本は言い回しなどが古典のようにとてもむずかしいのですが、修養を志す者は精読する価値のある本です。今回はその『努力論』の中から「惜福・分福・植福」についてお話をします。



露伴は「福や運を論ずるのはあまり高等なことではないように思われがちだが、多くの人達が一所懸命苦労したり努力したりするのは福を得るためであるから、福について考えておくのも悪くない」という前置きをした後、福を身につけるための三つの道について述べます。それが「惜福・分福・植福」です。

まず「惜福」とは、福を惜しむということですが、例えば、大金が手に入ると誰でも運が良いと喜びますが、大事なものはその後です。それを使い果たさず、正当なこと以外には無駄づかいをしないのが惜福です。日常でもそうです。給料をもらった時、必ずそこから一定額の貯金をする。それが惜福です。毎回使い果たしてしまつては、福はどこかへ行ってしまいます。



ある会社の社長さんが、「同じ給料で始まった二人の社員の数十年後の違いに驚いた」と言っておられました。一方は家を建て、子どもを立派に教育している。もう一方は借家で、いつもお金に困っている。この二人の違いは、貯金をしてきたかどうかにあるようです。要するに惜福の違いということです。

露伴は「誰しも七度訪れるという幸運を生かすためには何より惜福の工夫が大事だ」と言い、歴史上の人物を例に挙げて説明しています。「平家の総大将・平清盛、『平家物語』で旭将軍と呼ばれた木曾義仲、源平合戦最大の功労者・源義経、これらの人物は惜福の工夫が足りなかったために没落したのだ」と言います。

また、「徳川家康は、豊臣秀吉よりも器量において一



段も二段も劣っていたかもしれない。しかし惜福の工夫
においては数段勝っていた。それによって徳川三百年の
礎を築くことができた」と言います。事実、家康は古紙
一枚も粗末にしないほどの儉約家でした。一方の秀吉は
聚楽第を造営し、黄金の茶室を造って栄華を誇りました
が、惜福の工夫がなかったため、豊臣家は滅びてしまっ
たというのです。

次に「分福」ですが、分福とは字で書くが如く、自
分の福を自らがすべて使うのではなく、そのいくらかを
他人に分ける心掛けのことをいいます。分福と惜福の
違いは、惜福が福を使い尽くさないことに重きを置いて
いるのに対し、分福は、福を分ける相手が目に見えては
つきりしているのが特徴です。このことを露伴は「惜福



は自己一身にかかること、聊か消極的の傾があるが、分福は他人の身上にもかかることで、おのずから積極的の観がある」と述べています。また、人の上に立つ人物には必ず分福の心得があると、世界帝国をつくった古代マケドニアのアレキサンダー大王のことを例として挙げています。

アレキサンダー大王がペルシャを倒し、皆で勝利の美酒を味わおうということになった時、兵士全員に行き渡るほどのワインがありませんでした。そこで大王は「このワインを全部川上から流せ」と命令しました。そして皆がコップを持って、大王とともに川の水を汲んで乾杯したのです。露伴は「誰もワインでは酔えなかつたであろう。しかし、兵士達は大王の恩愛に酔いしれた



のである。また、このように部下を愛する人物に対しては、部下たるもの献身を誓わぬはずがなからう」と言います。

さらに、ここでも豊臣秀吉と徳川家康の話が出てきます。「日本において分福の心掛けが一番すぐれていたのは誰かという、それは秀吉である」と露伴は言います。家康は惜福の工夫については実にすぐれた人物であったのですが、分福については今一つであったようです。実際、自分の部下に対してあまり多くの知行を与えません。徳川恩顧の大名といっても、石高はせいぜい十五万石です。ところが秀吉は、実に気前良く何十万石という知行を与えたのです。それも加藤、福島、前田、蒲生といった、初めからの家臣だけではなく、途中から



家臣かしんになった者ものにも惜おしげもなく福ふくを分わけ与あたえたのです。少すこしでも手柄てがらを立てれば何なん十万石まんごくと与あたえられるのですから、家臣かしんたるもの秀吉ひでよしのために命いのちを懸かけるのは当然とうぜんです。露伴ろはんは「これが、秀吉ひでよしが早々はやはやと天下てんかを統一とういつできた理由りゆうである」と言いっています。この後あと露伴ろはんは、秀吉ひでよしに愛あいされた蒲生氏郷がもうじきとの伝記でんきからおもしろいエピソードを紹しょう介かいしていません。

ある時とき、大名達だいまうたちの集まりあつで、「秀吉ひでよしに万まん一いちのことがあつたら、次つぎは誰だれが天下てんかの主人しゅじんになるだろうか」という話わ題だいになった時に、氏郷うじきとは「それは前田利家まえだとしいえだ」と言いいました。「前田以外まえだいがいでは」と問とわれると「それは自分じぶんだ」と言いいました。さらに「徳川殿とくがわどのはどうだ」と問とわれると、笑わらいながら「徳川とくがわのような、人ひとに物ものをくれ惜おしむものに



何ができるものか」と言ったということです。

しかし、家康は天下を取りました。これは、家康が秀吉よりも健康で長生きをしたことが大きな理由であろうと思われます。何かの本で読んだのですが、家康は常に健康に気をつかっていたそうです。親からもらった身体を大事にした。惜しんだ〴〵ということだと思えます。ここにも家康の惜福があったのではないのでしょうか。

最後に「植福」です。これは、福を植える〴〵ということとです。「自分のために福を植えることは大事であるが、後の人々、後の世のために福を植える。これが何よりも大事だ」と露伴は言います。

「福を持ちたいと願う人は多いが、実際に福を持つ人は少ない。福を得ても福を惜しむことを知る人は少ない。」



幸福を得ている。これはすべて祖先の植福の賜物である。祖先のお陰をこうむっている我々は、同じように植福して子孫に残してやらなければならない。文明というものは、すべて先人が福を植えてくれた結果なのである」「植福」の「福」に関しては、これを「徳」と置きかえても良いと思います。

最近『グッド・アンセスター（11よき祖先）』という本を読みました。この本には、「わたしたちは『よき祖先』になれるか」という副題がついています。まさに植福について書かれた本です。この本の中にわかりやすい植福の話として、植林の話がでてきます。言うまでもなく、木を植えるのは自分達のためではなく子孫のためで



す。一年、二年では結果が出ません。五十年、百年、二百年、時には三百年かかることもあります。

顕著な例として日本の伊勢神宮の話が出ていました。

伊勢神宮は、二十年ごとに式年遷宮を行います。今から千三百年程前の天武天皇が始められた儀式です。式年遷宮に使われる木材は樹齢二百年から三百年のヒノキです。ですから今、ヒノキを植えている人は二百年後、三百年後の式年遷宮のために植えているわけです。それを『グッド・アンセスター』の著者はとても評価しています。

また徳川幕府の話もあります。安土桃山時代から江戸時代にかけて日本全国で城が造られ、江戸の町を造るために、大量の木材が使われました。その結果、日本各地が禿山だらけになったといえます。そして生態系が破壊



され、海で魚が取れなくなっていました。昔から
「豊かな森林は豊かな海を育む」と言われます。森林は
河川を通じて海に栄養分や有機物を供給しているのです。
それがなくなってしまうのです。また、木がなくなる
と洪水が起こります。さらに、天変地異によって飢饉が
発生します。江戸時代には有名な三大飢饉以外にも何度
か飢饉が起こりました。江戸幕府はそこで木を植えなけ
ればいけないことに気づき、全国の役所を通じて村人に
報酬を支払い、毎年10万本の苗木を植えさせました。そ
の結果、日本の国土の67パーセントが森林となり、緑の
列島に戻ったのです。これが明治の中頃のことです。
さらに、ケニア出身の女性で2004年にノーベル平
和賞を受賞したワンガリ・マータイさんの話もあります。



マータイさんは来日した際「もったいない」という日本語を知って感銘を受け、国連女性地位委員会で演説した時には、出席者全員と「もったいない」を唱和したとい
います。そして、「MOTTAINAI」を世界共通語
として広めることを提唱しました。

ある時期ケニアでは多くの森林監督官が不正を働き、
森林を破壊していました。森林破壊は江戸時代の例でわ
かるようにさまざまな災害をもたらします。そこでマー
タイさんは、1977年に「グリーンベルト運動」とい
う植林活動を始めました。最初は賛同する人も少なく、
7本の木を植えることから始まったそうです。それが今
では貧困に苦しむ女性を中心に延べ10万人が参加し、ア
フリカ全土に運動が広まり、5100万本の木が植えら



れ、アフリカが緑の大地に戻ったのです。

マータイさんの国葬の時、「木を使わないで」という遺言に従って、特製の棺に納められ、ガスによって火葬されたそうです。

最後に『グッド・アンセスター』の副題、「わたしたちは『よき祖先』になれるか」と発した人、ジョナス・ソーク氏についてです。ソーク氏はアメリカのウイルス学者です。この方は1955年に十年近くにわたり綿密な実験を重ねた結果、安全なポリオワクチンの開発に成功しました。ポリオは日本では小児麻痺として知られる病気です。世界各地で50万人を超える死者が出ていた当時、ワクチンは危機的状況を打開する突破口となりました。ソーク氏は時の人となり、瞬く間にミラクル・ワー



カー（「奇跡の功績者」）として世の中から称賛を受けました。

しかし、本人は名声や富に一切関心を示さず、ワクチンの特許権を放棄しています。

「莫大な富が入るというのに、なぜワクチンの特許権を放棄したのか」という質問に、ソーク氏は答えています。

「太陽の光を浴びるのに特許はありません。私は子孫に太陽の光のように、このワクチンを与えたいのです」

その結果、発展途上国を含めた、世界中の子ども達にこのポリオワクチンが行き届き、世界の約98パーセントの小児麻痺が消滅したのです。

我々が先人から多くの恩恵を受けているように、我々も未来世代に多くの恩恵を渡さなければならぬ」とい



うのがソーク氏の信念だったのです。

私達人一人ひとりが、ソーク氏のように「グッド・アン
セスター」となる努力を惜しまなければ、きっと未来は
輝かしいものとなるでしょう。



春のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺本山では

3月20日(木・祝)午前11時より

春季彼岸会が行われます。

皆さまのご参詣をお待ちしています。

◆今月の山首上人さまご親修日程

瀬戸布教所	3月9日(日)	四日市支院	3月13日(木)
平賀支院	3月16日(日)	岐阜支院	3月23日(日)

有縁の支院・布教所に、ご自由に「ご参詣ください」

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	2日・16日・22日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	9日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・22日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・16日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・18日・23日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)391-9733
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	2日・11日・23日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	2日・16日・23日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・23日	郡上市八幡町小野72-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山事務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	2日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	9日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	2日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	8日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙9-10	☎(0799)42-0175
岡山支院	2日・22日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	2日・16日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	8日・23日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	1日・16日・23日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	9日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	2日・15日・16日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・22日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)44-5445
筑後布教所	9日・23日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	9日・22日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・20日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	10日・23日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

第53回

青少年育成道場



日時 令和7年3月30日(日)
午前7時30分～午後2時30分

場所 法音寺大本堂

対象 15歳～35歳

持ち物 念珠・経本・筆記用具

参加費 無料

お申込み締め切り

令和7年3月7日(金)まで

主なプログラム

- 山首上人さまご法話
- 青年会員体験発表
- ディスカッション



お申込み・お問い合わせ ≫ 青少年育成委員会 (各支院/布教所まで)

に ち れ ん
日蓮さま

35 赦免しゃめん

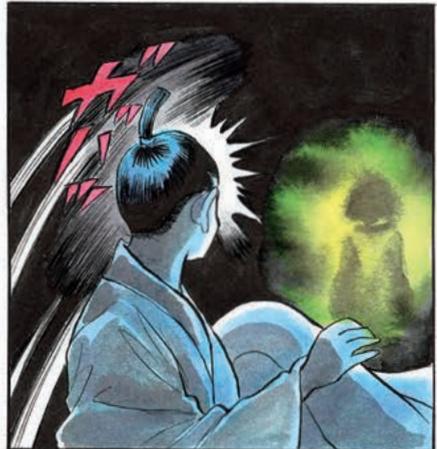




これ…
時宗よ

何故 罪もなき
日蓮上人を
遠く離れた佐渡が島に
とどめおくのか

もし日蓮上人を
赦さずば
一門の滅亡を
覚悟せよ





これは一体…
何事か



夢か
うつつか…

それにしても
一門の滅亡とは
聞き捨てならぬ



だれか
おるか

はいお館さま

朝が明け次第
評定衆を集める



此度の騒動こそ
日蓮房が『立正安国論』で
予言した「自界叛逆難」で
あった…

蒙古国の使者から
高庄的な牒状も
届いておる今
「他國侵逼難」も
起るであらう
それもそう遠い話では
なからう

いままさしく
国難である

みなはどう
思う??

かかる国難に
直面した折こそ
日蓮房のような
卓見の持ち主の
意見に耳を傾ける
べきかと存じます

日蓮の意見など
無用にごさる

泰盛は
どう思う??

はっ

日蓮という僧
世の常の者とは
思われぬ 不思議な
力を持つておる

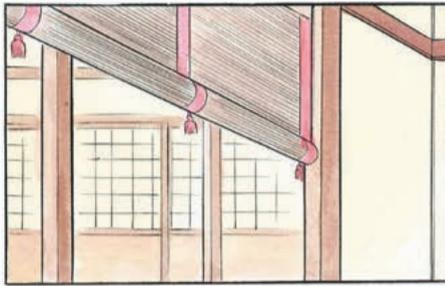
この際 意見を
聞くのも一法かと…

うむ…
確かに
そうだな

執権ごの!

日蓮の意見を
聞くというごとは
どういふことか
おわかりですか
北条の敵
日蓮を赦して
よいのですか

無論
わかっておる





すべに旅の
支度を

殿 おかえり
なさいませ

日朗どのを至急
お呼びしてくれ

宿屋光則の屋敷



ま まこと
ですか

日朗どの
日蓮上人が
たつた今ご赦免に
なりましたぞ！



何かご用で
ございますか



これが赦免状です



まことに
お師匠さまが

うれしい
ああ こんなうれしい
ことはない

鎌倉幕府は
ここに日蓮を
赦免する

佐渡にこれを届け
日蓮の身柄を
引き取るよう
取り計らえ

佐渡に出向き
お上人を鎌倉へ
お連れする役目を
仰せつかったのです



待ちに待った
ご赦免の日が
ついに来たのです

日蓮上人をはじめ
お弟子の方々
信者の人々…
どれほどの
喜びであろう

はい
この日をどれだけ
待ち望んだことが
よかったです…

よかったです
お師匠さま…



わかりませうぞ
日朗どの

役人に捕えられた
日朗どのをわが屋敷の
土牢にお預りしてより
あなたの信念が
どれほど深いものか

宿屋どの この赦免状を
私に佐渡まで運ばせては
くださらぬか

あなたとお上人さまが
どれくらい強い絆で
結ばれているかよく
わかっております



はい

身体に
気をつけて
日蓮上人を
無事お連れ
くださいよ

殿 旅の支度が
とこのいました



お師匠さま
すぐに良い知らせを
持ってまいります
今しばらく
お待ちください

行って
まいります

赦免

日蓮聖人の佐渡流罪が決まった直後には、蒙古の使者・趙良弼が百人の随員を従えて三度目の国書を幕府にもたらしました。そしてその翌年には「二月騒動」が起き、さらに蒙古の使者が返書を督促するなど、日蓮聖人の他国侵逼難の予測もますます現実味を帯びてきていました。当初、執権北条時宗は、自ら信仰している禅や、幕府とともに慈善事業に励んできた極楽寺良観を批判した日蓮聖人に対して憤りを覚えていました。しかし、相次ぐ蒙古の使者の来日やそれに伴う政情不安が続き、これらを早くから指摘していた日蓮聖人を、時宗は見直すようになります。

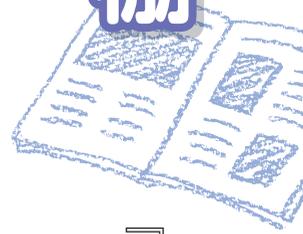
ある晩、北条時宗の夢に緑色の官服を着た童子が現れ、「日蓮を赦さねば北条一門の滅亡は近い」と告げたそうので、その日、平左衛門尉頼綱も同じ夢を見たといいます。そこで文永11年（1274年）2月14日、時宗は日蓮聖人の赦免を決定しました。その目的は蒙古襲来の時期の予測と、諸宗の僧と協力して蒙古を調伏させることにあつたようです。



北条時宗肖像画（円覚寺仏日庵サイトより）



お寺の本棚



『大乗山法音寺 聖教』

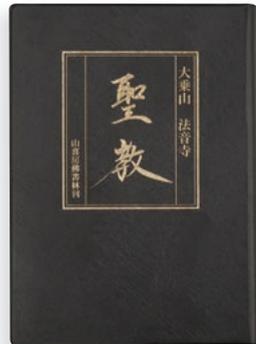
三徳は心の栄養

日蓮聖人の遺文に「命と申す物は一切の財の中に第一の財なり」（事理供養御書）とあります。生きているその基は命

であります。人には肉体と心の健康が大切です。肉体を保つには呼吸と食事が大切です。肉体の循環をよくするためには、手足をよく動かすことです。一方、心の健康のためには、心の栄養をとり、それを生かしていく行いが必要です。心の栄養、それは法華経・三徳であります。

なぜ三徳を実行しなければならないのか。どうして慈悲・至誠・堪忍が必要なのか。それは、私達が幸せになるために必要不可欠なものだからです。

唯識論によると、私達は生まれながらに、心の病人である、と言います。その病原は「末那識」であります。「末那識」とは我欲であります。それが表に病氣として現れたの





が、貪・瞋・痴であります。

生きていると楽しいことも少しはありますが、辛いこと、苦しいこと、悩むことの方が
多いものです。衣・食・住の問題、人間関係のこと、家族のこと、職場のこと等、悩みは
つきないものです。これを無くし、良い方向にもっていくには三徳の実行しかありません。
三徳を実行し続けると、〴〵オレガ〴〵という心が変化していきます。ほっておくと我が強く
なり、人を困らせ、自分を困らせるものとなります。いろいろな形で施しを続け、慈悲を
実行し続けていけば、だんだん心が広くなり、何事にも〴〵ありがたいな〴〵という心ができ
てきます。ありがたいと思う心ができると今までの悩みも半減し、悩みが多少あって
もあまり気にしなくてもよいようになります。生きていく上で、いやいや生きていくのと、
広い心で積極的に生きていくのでは大きなちがいです。三徳の大道を、変わらない幸せを
目指して歩もうではありませんか。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所まで
お問い合わせください。

常寂光土への誘い (32)

無量義經 十功德品第三

善男子、第七に是の經の不可思議の功德力とは、若し善男子・善女人、私の在在若しは滅度の後に於いて、是の經を聞くことを得て、歡喜し信樂し希有の心を生じ、受持し誦誦し書寫し解説し説の如く修行し、菩提心を發し、諸の善根を起し、大悲の意を興して、一切の苦惱の衆生を度せんと欲せば、未だ六波羅蜜を修行することを得ずと雖も、六波羅蜜自然に在前し、即ち是の身に於いて無生法忍を得、生死・煩惱一時に断壞して、菩薩の第七の地に昇らん。

「善男子よ、第七に是の經の不可思議の功德力とは…」

《第七、賞封不思議力》

仏さまのご在世中でもご入滅の後でも、この經を聞き、歡喜し、心に喜びを感じ、この經を受持し、誦誦し、書寫し、解説し、説の如く修行し、菩提心を發し、意義ある生活ができると確信して暮らすことは、大変な喜びであります。

「歡喜し信樂し」 教えを信じて、普通の生活を離れた意義ある生活に入りたいという大きな望みを起こ

し、楽しみ、信頼していくことが大事です。

「希有の心を生じ」Ⅱかつて覚えのなかったような帰依の心を起こすことです。この教えを信ずることによって、自分達の将来に大きな光明に満ち、希望に満ちた生涯が開けるといふ、喜びと楽しみを持つことです。

ここは、信仰をする順序が説かれているのであります。み教えを聞いて歓喜し、そのみ教えを信じ、自分の身に実行しようと思心して、さらに読誦し、繰返し学び、そのみ教えの意味を深く味わって、ある時は人に向かって説いて聞かせ、ある時は書写し、このみ教えを信じて道に入る人を作る努力をするのです。そうして、「如説修行」と言つて、仏さまのおっしゃる通りに実行しようと思心するのです。そうすれば「菩提心を発す」で、仏さまのような智慧を具える身になりたいとの願いが定まってくるのです。そうして次に「諸の善根を起す」で、多くの善いことをする根本の心ができてきます。そして「大悲の意を興す」とありますが、迷ったり悩んだりしている人々を何とか苦しい境界から救い出して上げたいという心になり、「一切の苦悩の衆生を度す」で、苦しみ・悩みの中から人々を離れさせて上げようとの決心が起るのです。こういう心の土台ができますと、「未だ六波羅蜜を修行することを得ずと雖も、六波羅蜜自然に在前」するのであります。

菩薩の道・六波羅蜜が自然にそこに現れて、ことごとく実行できるようになっていくということです。そうなる時、この娑婆世界において、今から一步一步仏に近づいていくことができるのです。

「是の身において無生法忍を得」Ⅱこの娑婆世界に生活している身でありながら、世の中の変化に少しも動かされることのない心構えができるのです。そうすれば「生死・煩惱一時に断壊」で、多くの迷いも一

時になくなって「菩薩の第七の地に昇らん」というのです。

第七の地とは、菩薩の十地の七「遠行地」でありまして、声聞・縁覚を離れて仏さまのお心に近づいていくのです。世間の人々を低く見るといふ心はなく、大きな同情を以って人々に接するようになるのであります。

譬えば健かなる人の王の為に怨を除くに、**怨既に滅し已りなば王大に歡喜して、賞賜するに半国の封悉く以て之を与えんが如く、持経の善男子・善女人も亦復是の如し。諸の行人において最も為れ勇健なり。**

身体の健康な立派な人が、王さまのために戦いをして敵を打ち払い、敵がすっかり滅びてしまうと、王さまは喜んで、自分の国の半分に当たるくらい広い土地をご褒美にくださるのと同じように、「持経の善男子・善女人」即ち、み教えを本当に信じ、修行する人に対してはその通りで、仏さまは守護してくださいるのであります。「仏さまと一致するように」との目標を定めて進みますならば、途中で挫けたり、崩れたりする筈はありません。その人々を仏さまは「諸々の行人において最も為れ勇健なり」と讃めてくださるのであります。

六度の法宝求めざるに自ら至ることを得たり。生死の怨敵自然に散壊し、無生忍の半仏

国こくの宝たからを証しょうし、封ほうの賞しょうあつて安樂あんらくならん。善男子ぜんなんし、是これを是この經きやうの第七だいしちの功德くどくふし不思議ぎの力ちからと名なづく。

「六度」は六波羅蜜、即ち菩薩行であります。菩薩行を積んだその功德が、求めなくても自然に与えられるようになり、「生死の怨敵」 現象の変化という人を惑わす忌まわしいことは自然になくなるということです。

「無生忍」とは無生法忍と同じで、生死を離れた心。人生の変化のために少しも心を動かされないことです。これは実に大きな宝であつて、王さまの国を半分貰つたと同じくらい尊いということです。その宝を自分が証するということは、「なるほど」と自得することであります。そうして「封の賞あつて安樂ならん」 封の賞とは王さまの領地を戴くことで、安樂ならんは、そのことによつて心が安樂になることです。「自分は仏さまの直接の弟子になれた。菩薩の仲間入りができた」という自覚が得られて、大変心が安らかになるということです。これを「是の經を修行する第七の功德不思議の力である」と言われているのであります。

〔法華三部經略義 卷一・一一九頁〕

四菩薩プロジェクト「安立行」編の記事が 仏教タイムス(第3063号 令和7年1月9日・16日合併号)に掲載されました

救ライイから総合福祉へ

法音寺福祉の原点に三徳、四弘誓願

四菩薩プロジェクト 安立行菩薩編

法華コモンズ仏教学林の四菩薩プロジェクト「現代の法華菩薩道とは何か」の3冊目となる安立行「編」が12月21日、東京・新宿の常圓寺でオンラインを併用して行われた。「法音寺福祉の法華的基礎―救ライイから総合福祉へ」と題して、名古屋・日蓮宗大乗山法音寺(鈴木正修山首)の弓削多一郎寺務長が講演した。

法音寺が設立母体である日本福祉大では理事を務め、愛知県内最大級の社会福祉法人昭徳会では総務部長として運営の最前線に立つ弓削多氏は最初に現状



先師の活動を紹介しながら法音寺福祉100年の歩みを語る弓削多氏

を報告。法音寺は全国に約40カ所の支院(布教拠点)を有し、一昨年に創立70周年を迎えた日本福祉大(山首が学園長の卒業生は10万人を超え、児童養護から高齢者まで幅広い昭徳会(山首が理事長)は19施設・62事業を展開し1500人が利用している。

そのルーツが明治末、

民間法華行者の杉山辰子(始祖)が設立した仏教感化救済会。弓削多氏は辰子を含めて運動を主導した4人ごとに時代区分を設定し、100年余の福祉と宗教活動について語った。

杉山辰子(1868〜1931)の時代は「因果の二法と難病根治」と位置付けた。辰子の法華経修行から感化救済会の設立、ハンセン病治療、関東大震災被災者救援などを概説。とりわけハンセン病治療(救ライイ活動)は、辰子はじめ弟子・鈴木修学の福岡・生の松原での活動まで大きな影響を及ぼした。

辰子は法華行者として名が知られていた鈴木キセのもとで「お題目修行と人を喜ばす修行」を重ねた。「当時学んだこと

が法音寺に根付いている。その一つが慈悲・至誠まこと・堪忍の三徳の教え。法音寺では六徳羅蜜を凝縮したものと受け止めている」とした。

辰子は医師の村上斎(一祖、1856〜1947)と困窮者支援にあたった。村上自身、辰子と出会った時に困難を抱えていた。辰子から「徳積みによる罪障消滅」を勧められ、「妙法で治らない病はない」と言葉に医師としてジレンマも抱えていた。しかし村上が専門とする黒内障(当时は治療方法がなかった)の患者が治癒する現証を目の当たりにすることになった。今日の「医療と精神療法」を先取りするものであった。

43)、活動主体の大乗報恩会の宗教行為が高警察の嫌疑を受けた。宗教弾圧である。高齢の村上に代わって拘留されたのが法音寺開山となる鈴木修学(1902〜1962)であった。拘留は58日間に及んだ。この体験が戦後の日蓮宗帰属に至ったという。

戦後、「法音寺福祉の礎」を築いた鈴木修学。戦災孤児の收容に始まり、知的障害児支援などにあたった。「知的障害児に何を教えるも父々という風潮の中で、修学は子どもの将来を考えて、男の子には木工、女の子には裁縫を教えた」

村上は辰子亡き後の事業を継承し、2代会長となった。弓削多氏は村上の時代は「戦時下の活動」だったとし、児童養護に取り組み、同時に組織の名称変更が続いた。ところが昭和18年(19

戦後、「法音寺福祉の礎」を築いた鈴木修学。戦災孤児の收容に始まり、知的障害児支援などにあたった。「知的障害児に何を教えるも父々という風潮の中で、修学は子どもの将来を考えて、男の子には木工、女の子には裁縫を教えた」

の鈴木宗音山首(1930〜2012)が背負うことになる。しかし若き山首が「信仰と福祉の拡大」の歩みを止めることはなかった。

弓削多氏は「辰子から始まる法音寺福祉は、四弘誓願の衆生無辺誓願度。目の前に困っている人がいたら救いの手を差し伸べる。制度やお金の有無は一切関係ない」と原点を力説し、それが現在の鈴木正修山首にも受け継がれていると。他方、自ら置かれた立場から「当時の事務局スタッフはヒヤヒヤしたのではないかなと苦笑した。四菩薩プロジェクトの最終講義「無辺行」編は2月22日。講師は興風談所の山上弘道氏。

昭徳会(現日本福祉大)を設立。布教面では各地に支院を開設し、仏教漫画の普及にも努めた。布教・教育(大学)・福祉が回り始めた矢先、修学急逝、事業と多額の借財は、30代前半

昭徳会(現日本福祉大)を設立。布教面では各地に支院を開設し、仏教漫画の普及にも努めた。布教・教育(大学)・福祉が回り始めた矢先、修学急逝、事業と多額の借財は、30代前半

昭徳会(現日本福祉大)を設立。布教面では各地に支院を開設し、仏教漫画の普及にも努めた。布教・教育(大学)・福祉が回り始めた矢先、修学急逝、事業と多額の借財は、30代前半

法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています



福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します



児童養護施設

親と暮らせない約170名の子どもの
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています



ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

私が思う

寄り添う看護

親子のあるべき姿

私が小原寮に入職して十三年が過ぎました。入職当初は障がい福祉を何も知らないままで飛び込んだ世界ですが、先輩看護師から「利用者さんと家族に寄り添う看護をなさい」と教えていただきました。

二年ほど前の出来事です。利用者さんが乳癌に罹患し、手術を受けました。本来であれば入院して静養となりますが、障がいの特性上、入院することは叶いません。退院して帰寮するも、転移し

た癌が身体を蝕み、徐々に利用者さんの体力を奪っていきます。痛みを訴え、食事が摂れなくなり、それでも職員一丸となって支援にあたりました。

小原寮ではターミナルケアは行っておらず、職員の疲弊が見られるようになった頃、病院の相談員から他施設への移行を勧められました。特定疾患をつけての『特養』か、癌末期に特化した『ホスピス』かの二択でした。ご家族の意向は、なるべく苦しまず穏やかに最後を過ごせるところ、『ホスピス』でした。

転院後、二週間が経過した日、担当看護師から

一本の電話が入りました。危篤の報告でした。雨がしとしとと降る中、グループリーダーと駆けつけました。あと数分のところで間に合わず、すでに息を引き取られた後でした。小原寮では痛みを訴え、苦痛に顔を歪めていた彼女は、とても穏やかな表情で永眠されていました。

「娘と三人、数十年ぶりに親子、川の字になって寝ました。ホスピスの看護師さん達もとても親切で、ここに来て良かった。ありがとう」

お母さんからの言葉です。私達は涙があふれてきました。

施設での『寄り添う看護』とは、お一人おひとりの利用者さんとご家族を『本来あるべき家族の形』に導いていくことだ、と教えていただいた気がします。

十年が過ぎた今でも『寄り添う看護』ができていたかの答えは出ていません。それでも、定年まで後四年、最後まで利用者さんとご家族に寄り添っていきたいと思います。

小原寮 専門員・看護師 徳光 里美



障がい者支援施設 泰山寮の紹介



写真提供・昭徳会

障がい者支援施設 泰山寮 ～ 令和の取り組み～

泰山寮は名古屋市と豊田市の中間に位置するみよし市内にあります。みよし市といえば、愛知県住みたい街ランキングで二年連続2位に選ばれた緑豊かで住み心地抜群な街です。そんな素敵な街にある泰山寮は昭和61年に開設された、老舗の障がい者支援施設です。昭和から平成、令和へと時代を経て、障がい福祉の移り変わりに沿ってきた泰山寮ですが、令和の泰山寮の取り組みについてご紹介します。

入所施設の役割は、重度の障がいがある人が昼も夜も安心した日常生活を送るための支援を提供することでした。その支援内容は今も変わりありませんが、令和の時代は障がいのある人が希望する地域での生活を實現することが入所施設に求められています。そこで泰山寮では、地域移行と利用者さんの活動の幅を広げる取り組み（日中活動）を進めています。

地域移行のためにご協力を得たのはみよし市内にある法人でした。ある利用者さんは他事業所で生活介護（軽作業）の体験後、「お金（工賃）をください」と言われるようになりました。それは入所前に事業所で働いていた経験があったからです。このことから利用者さんにとって泰山寮以外で活動することや、生活

を施設内で完結しないことがどれ程「その人らしく暮らす」ことにつながるかを考えるきっかけになりました。その後、GH（グループホーム）の見学や宿泊体験を重ね、この利用者さんは「泰山寮はお別れする」と三十年以上暮らした泰山寮を出ることを決められました。

私達は、利用者さんが地域で暮らすだけでなく、多くの人や社会との関わりも持っていたいただきたいと考へ、多肉植物の栽培を始めました。この活動は泰山寮で働く職員の得意を活かしたもので、令和の流行にのった取り組みだと思っています。ほとんどの職員は植物の栽培の知識はありませんでしたが、利用者さんと一緒に何ができるかを考へ、水やりから始めることにしました。当初は水やりすらハードルが高いのではないかと心配しましたが、皆さんじょうろさばきも上手で、普段は活動に参加できない利用者さんも積極的に参加されるようになりました。そんな笑顔がいっぱい楽しんでそうに水やりをする姿を見ながら、職員冥利に尽きた幸せな時間を共に過ごすことができ、日々やりがいを感じさせてもらっています。

また、地域移行でお世話になっている他法人に巨大にんにくの種を分けてもらい、泰山寮敷地内にんに

く畑を作る事にも挑戦しました。植え付けは利用者さんにお手伝いしていただき、ここでも利用者さんの普段見られない姿を見ることができました。そんな楽しそうな姿を見ていたのが泰山寮敷地内に住むカラス達です。私達は、いつ発芽するかと首を長くして待ちました。にんにくの芽が発芽した途端カラスに食べられてしまうというハプニングがありました。それでも、何とか来年の夏ににんにくの収穫したいという職員の思いから、カラス避けを作成し、今ではカラスも寄りつきません。

利用者さんのチカラは無敵大です。そんな利用者さんとともにこれからも泰山寮は歩み続けます。そして、昭徳会の泰山寮だけでなく、地域の皆さんや他事業所とともにこれからも歩んでいきます。多肉植物は昭徳会ブースで販売しています。多肉の器は小原察作の素敵な器です。よかったら多肉を手にとって幸せを感じてみてください。

この泰山寮の取り組みにご賛同いただける方、今後の泰山寮の取り組みにぜひご協力をお願いいたします。

障がい者支援施設 泰山寮 グループリーダー

井上 亜希

第22回高校生ふくし文化賞・エッセイコンテスト

～日本福祉大学～



受賞者の皆さん（オンラインでの授賞式の様子）

「ふくし」とは、ふつうのくらしのしあわせ、のこと。あなたはどんなときに「ふくし」を感じますか。あなたにとって「ふくし」はどんなことですか。

毎日のなかで、ふと気づいたこと、疑問に思ったこと、考えたこと。あなたの体温で、あなたの言葉を聞かせてください。

日本福祉大学では、全国の高校生が身近なところにある「ふくし」に気づき、それを文章で表現することで、「ふくし」のことを考える機会にしてほしいという思いから、上記のキャッチフレーズで「高校生ふくし文化賞・エッセイコンテスト」を毎年実施しています。第22回目となった今回も、今を生きる高校生達が「わたしとふくし」というテーマのもと、日常のくらしのなかにある「ふくし」を切り取り、一人ひとりの想いを見事に表現してくれました。今回は、国内外から総数7841点の作品が届き、その中から、33作品の入賞と13校の学校賞が選定されました。

その中から、第1分野「わたしが考えるこれからの社会」全ての人が幸せであるために」の中で最優秀賞に選ばれた作品をご紹介します。

無意識の偏見

松田 真由（愛知県立時習館高等学校 2年）

「ありがとう」私はあの時、この言葉を素直に受け取ることができなかった。

中学生の時、私には特別支援学級に通うAちゃんという友達があった。班別行動で同じ班になることが多く、次第に親しくなっていたのだ。Aちゃんは物腰の柔らかい子で、廊下などで出会うと互いに手を振りあい、ハイタッチをして別れるというのが習慣だった。

修学旅行二日目も私達は同じ部屋に宿泊していた。その夜、ライトアップされたホテルの周辺を探索できる自由時間のこと。数人の友達と一緒に行こうと誘われたが、私はAちゃんと一緒に回るからと断った。そうしないと、Aちゃんが一人になってしまおうと思ったから。そうして二人で回っていると、Aちゃんの担任の先生に声をかけられた。

「松田さん、Aちゃんと一緒に回ってくれてありがとう。」その言葉に私は違和感を覚えた。確かに、ほかの友達とも一緒に回らなかったし、少し気を使ってしまうところもあるが、決して嫌々ではなく、楽しく回っている。

Aちゃんが特別支援学級に通う子だからわざわざこのよ

うなことを言うのだろうか、と。

しかし、Aちゃんのことを特別視してしまっていたのは私なのだと今ならよくわかる。「いつもうちの子と仲良くしてくれてありがとう」と言う両親の姿とあの時の先生の姿が重なって気づいた。先生の言葉はAちゃんを大事に思う純粋な気持ちからくるもので、私は勝手にそこへ特別な意味を付け加えてしまっていたのだと。

私の中にはおそらく無意識の偏見がまだ残っている。それらに気づくことはむずかしいかもしれない。それでも、あきらめずに探し続け、なくしていきたい。かつて、私は二人で回る選択をしてしまったが、今後は「みんなと一緒に」という選択も増やしていきたい。障がいの有無にかかわらず素敵な人はたくさんいるのだと多くの人に知ってもらうために。

高校生ふくし文化賞・エッセイコンテストのWEBページでは、その他の分野の入賞作品等も掲載していますので、ぜひご覧ください。

理事長・学長室 江本健康

日本福祉大学 エッセイコンテスト

検索





幸せの種まき

施しの心のない人でも
多くの施しを受けています

自分が施しを忘れた時でも
まわりの多くの人や天地自然からの
施しを受けて生きることができなのです
これは本当にありがたいことです

大乗山 法音寺



編集後記

今月号の支院だよりでは各地で行われた寒修行で、さまざまな願いを込めて祈る人々の姿がレポートされました。中にはお題目を唱えながら静かに日々の自分と向かい合った方もいらつしやつたようです。

凡夫である私達は時に堪忍を忘れ、些細なことでイライラしてしまうことがあります。思うようにならないことでイライラするのは、自分の許容範囲が狭く、心に余裕がない証拠かもしれません。日達上人はご法話で、「何でも思い通りになると思いついでいるところに間違いが起こる。自分の心臓一つ思い通りに動かすことはできません。世の中は不都合があつてあたりまえなのだから、いちいち怒つていたらさきがない。ありがたい」という心を持つては、堪忍もしやすくなります」と説いてくださったことがあります。

お互い顔が異なるように、性格や価値観は異なります。相手が自分の考えに合わせるべきと思うこと自体に無理があります。逆に思うように事が進んだ時は、価値観の異なる相手が堪忍してくれただけかもしれません。日頃から、ありがたい、という心のアンテナを磨くことが、穏やかな日々を過ごすためには必要なようです。



みかたか 見方を変えるだけで

竹中 淳







自分の席を通り越してわたしの机に置いたのは蓮だよ！



あちやー！完全に動揺してる

この点数ならいつ先生から呼び出されてもおかしくないよなあ

放課後までドキドキしてなきゃならないなんて生きた心地がしないよ！



でも蓮よかつたよね



何だいさつきからよかつたよかつたよ！傷ついている人に言っただいこと？

いいわけないだろ！



後ろのふたり静かに！



何をそんなに怒ってんの？

そりや怒るさ人の不幸を喜ぶんだもん



喜んでなんかいないよ

わたしもテストで悪い点をとったことあるもん



わたしが3年の時のこと聞いてよ

それまでわたしは
100点しか
とったことがなくて
ある時 90点で
落ちこんでたの

そしたら わたしの
ママは言ったわ

なんだよ
自慢かあ

よかったじゃない

引き算が苦手だったこと
それがわかって！

そうやって
前向きの考え方に
置き換えちゃえば
前に進めるでしょ

何もガツカリ
することないわ

それから
自転車
こけても

いたあ

骨折してない
この程度でよかった

そう考えるように
なったの

あー だから
あの時
よかったって
言ったの？

よかった
じゃん

そうよ
バイクや車だったら
大変でしょ



ママテストの
点が悪くても
怒らないよ
そしてね

点なんか 気に
しなきゃいいのよ



ボクの場合 どう
考えたらいいんだ？

でもさ 夢ちゃんは
90点なんて高い点
だからいいけど…



夢子
学校の先生は何のために
テストをすると思う？

先生はね
授業で教えたことを
あなた達がきちんと
理解できているか
どうかを試しているのよ

逆に夢子達は
先生から教わったことが
理解できているか
自分で確かめられる
いいチャンスだと
思わない？



はい ここに
すわって！



そう言われたら
そうだね…

そのいいチャンス
いかさなきや

そして夢ちゃんは
ボクが理解できてない所を
一つずつわかりやすく
教えてくれた

まずは問題を
よく読むこと

分数計算がよく
わかってないね
それと小数の割り算…

夢子 先生に
なれんじやねえ



赤ペン入れといた
必ず復習しなよ



うわあ こんなに
あるのか

でも これなら
やりやすいよ



ねえ
夢ちゃんのママが
言ってたこと
もう一度教えて

ああ



前向きな考え方に
置き換えちゃえば
前に進める…？



あゝ
それいいね

見方を少し
変えただけで
モヤモヤがなんだか
スッキリしちゃった

そうよ 自分の
都合のいいように
考えたらいいのよ







おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式

facebookで

毎朝7時

『一日一言』

配信中!!

こちらの
二次元バーコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日

法音寺メールマガジン

配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらの
二次元バーコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらの
二次元バーコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL.(052)831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL.(0569)87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和7年3月号・No.665・令和7年3月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社